

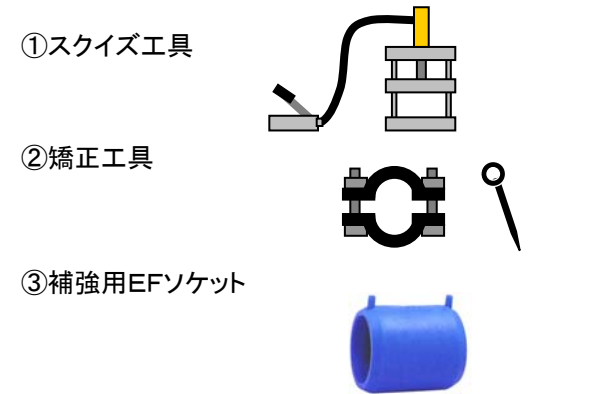
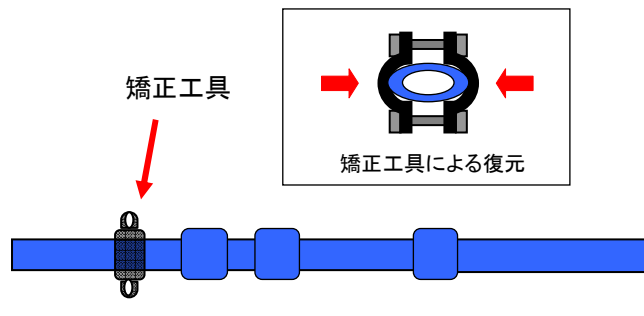
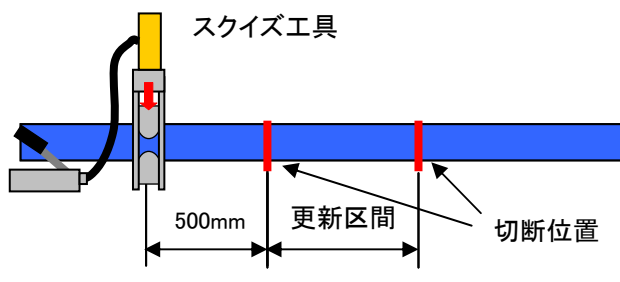
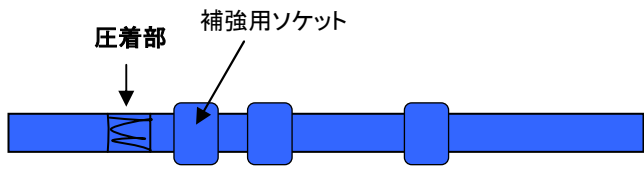
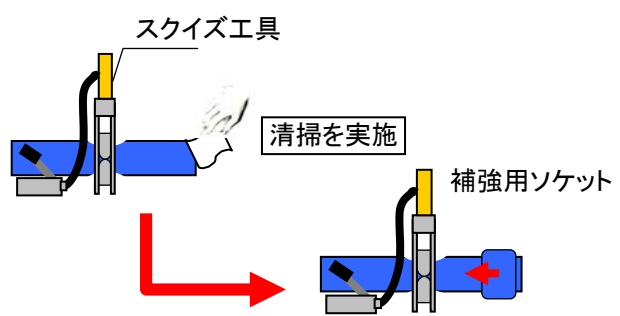
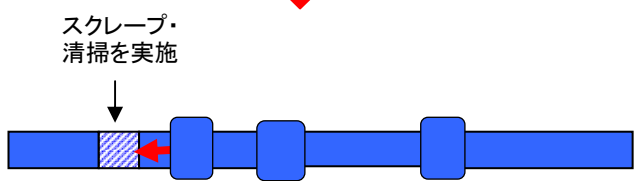
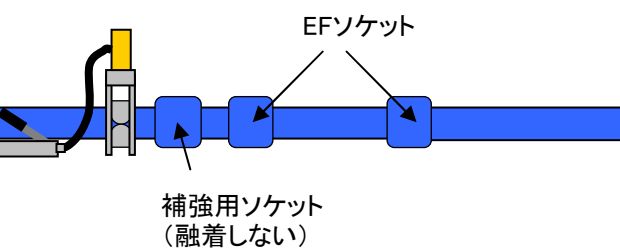
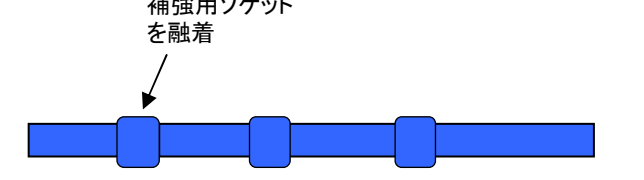
## スクイズオフ止水工法について

### 1. 用途

- 1) 仕切り弁が近くに無く、水圧 (0.75MPa以下) がかかっている場合の止水・・・メカニカル継手で接合します。
- 2) 仕切り弁が有るが、完全止水出来ない(水漏れ程度)場合の止水　　・・・EF継手接合で出来ます。

### 2. 適応管種: エスロハイパーPE・JWφ50～φ150

### 3. スクイズオフ工法の作業方法 (EF継手での接合を示しますが、スクイズオフ工法の作業方法は共通です。)

<p>1) 工具の準備</p> <p>①スクイズ工具</p> <p>②矯正工具</p> <p>③補強用EFソケット</p> 	<p>5) スクイズ工具の油圧を抜き、管から取り外した後、管の変形部に矯正工具を取り付け、円形に復元します。(ボルトは、メタルタッチまで締め付けます)</p> 
<p>2) 切断位置より500mm程度離れた位置にスクイズ工具を設置し、スライドバーを下げ、管を圧着します。</p> 	<p>6) 圧着部を円形に矯正後、スクレープ・清掃します。その後、補強用ソケットの移動させます。(補強用ソケットの移動が固い時は当て木をし、ハンマー等で軽くたたいて移動してください。)</p> 
<p>3) 破損部の切断・撤去後、管端からスクイズ工具までを清掃して、スクイズ部補強用のEFソケットを通します。</p> 	 <p>補強用ソケットを移動させます</p>
<p>4) 新設管を、EF(エレクトロフュージョン)ソケット等で接合します。</p> 	<p>7) 圧着部に、補強用ソケットを融着して、作業完了です。</p>  <p>※通水は、所定の冷却時間経過後、行って下さい。</p>

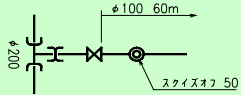
## 4. 事例紹介

### 1)新潟県(φ100)

・仕切り弁で完全に水が止まらない管路をスクイズオフで止水して、融着接合を行なった。

#### ①現場状況

更新区間は、約60m配管。



#### ②既設管との接続

EFソケットにて融着して配管延長。



#### ③扁平部補修(復元)

二つ割治具にて、スクイズオフ部分の側面(白化部分)をメタルタッチまで締め付け、復元した。(5分程度)



#### ④スクイズオフ部の融着

補強用のEFソケットを、スクイズオフ部まで移動させ、クランプで固定した後、融着を実施した。



### 2)広島県(φ150)

・既設のエスロハイパーφ150の管路をスクイズオフで断水した後に切断して管の移設を行なった。

#### ①工事現場の状況

道路工事に伴い、既設のφ150配水管を移設する。



#### ②管の切断

スクイズオフにて断水した後、管を手鋸で切断した。



#### ③管の接続

既設管との接続には、メカニカル継手を使用し、その他の部分は融着接合とした。



#### ④スクイズオフ部の融着・完了

補強用のEFソケットを、スクイズオフ部まで移動させ、クランプで固定した後、融着を実施した。

